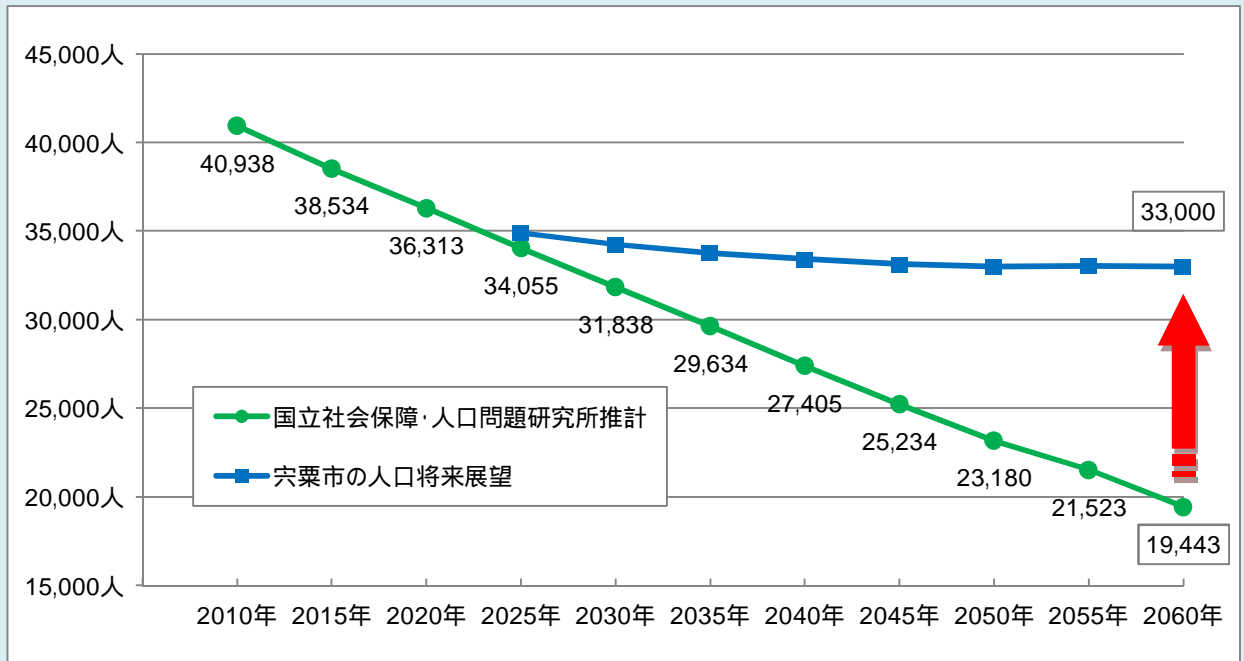


宍粟市人口ビジョン・地域創生総合戦略(概要版)

2060年(平成72年)に人口33,000人を目指す



自然増における目標

2040年(平成52年)以降において合計特殊出生率2.3をめざす

【現状:2010年(平成22年)合計特殊出生率1.58】

社会増における目標

2025年(平成37年)を目処に転入と転出の均衡を図り、以降は転入が転出を上回ることをめざす

【現状:2010年(平成22年)において転出が転入を年間327人上回っている】

定住促進重点戦略

1.【住む】 集落・地域の活性化と宍粟市への移住支援

〔具体的取組〕 地域づくりNPO法人の育成と支援、市内路線バスのネットワーク化による利便性の向上、お試し移住体験事業、農地の取得規制の緩和による農地付き空き家への移住促進、阪神間等への通勤・通学費用の支援等

2.【働く】 雇用の創出と就職支援

〔具体的取組〕 宍粟市産物販売促進事業、市内の農林水産業者と商工業者等の産業連携支援、「県立ひょうご林業大学校(仮称)」の誘致、企業誘致推進員の設置、起業家への支援等

3.【産み育てる】 少子化対策

〔具体的取組〕 妊婦健康診査費の助成、認定こども園の推進、子育て世代包括支援センターの体制整備、女性の再就職支援の講座の開催、ワーク・ライフ・バランスに関するアドバイザーの派遣等

4.【まちの魅力】 選ばれるまちづくり

〔具体的取組〕 もみじ山等の景勝地の整備と強化、森林セラピーの推進と周辺環境整備、氷ノ山ツーリズムの推進、宍粟彩りの回廊プロジェクト、波賀森林鉄道についての調査研究等

総合戦略のテーマ

宍粟市は広範な市域にさまざまな地域資源を有する豊かなまちです。中でも特に、その約9割を占める森林は本市の誇る貴重な資源であり、市民生活にも深く関わり、多くの恵みをもたらしてきました。人口減少、少子高齢化という大きな課題に直面している現在、「住まい」「仕事」「観光」「子育て・教育」「環境」「保健・休養」といったさまざまな面において、森林からの恩恵を最大限に活かすことが一層重要になってきます。そして、市民、地域・団体、企業、行政の間の相互の連携と、まちで活躍する多彩な人材の育成によって、森林から創まる多様な取組を総合的に展開し、人と自然が輝き、活力に満ちた持続可能な地域の創生をめざします。

